

科目名 (Eng)	英語ⅡB (English ⅡB)									
担当教員	大平克己									
対象学年等	学科・学年		授業期間・区分・単位数・時間数			分野	形態	学修単位科目		
	一般科目 (工学系4科)	2	通年	必修	2	(60)	一般	B		
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応：(F-4)。(F-5)。(F-6)。									
	卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：6)。 JABEE基準I(1)との対応：									
授業の概要と方針	英語を正しく理解し英語で自分の考えを表現できるように、基礎的な英文法の習得をめざす。高校レベルの英文法について広く浅く1年間でひととおり目を通すことを主眼とする。									
到達目標	①文法の基礎的概念を理解し、英文の組み立てを構造的に把握できるようになる。②主要な構文を習得し、それを応用して英語で自分の考えを表現できるようになる。③日本語と英語の発想法や論理展開の型の違いについておおまかな理解を得る。									
授業計画										
	週	授業項目	理解すべき内容					事前学習		
前期	1	英語のしくみ、語順 (1)	肯定文・否定文・疑問文					予め参考書に目を通して教科書の設問を自分なりに解いてから授業に臨むこと。		
	2	英語の語順 (2) (3)	5文型、基本構文							
	3	動詞の活用	規則動詞、不規則動詞							
	4	時制 (1) (2)	現在形、過去形、進行形、未来の表現、予定・条件							
	5	完了形 (1) (2)	完了・結果、経験、継続の用法							
	6	助動詞 (1) (2)	can, could, may, might, must, will, shall							
	7	助動詞 (3)	would, used to, ought to							
	8	態 (1) (2)	受動態の基本							
	9	態 (応用)	完了形・進行形の受動態ほか							
	10	不定詞 (1) (2)	名詞的用法、形容詞的用法、副詞的用法、意味上の主語							
	11	不定詞 (3) (4)	動詞+名詞+不定詞、使役動詞、知覚動詞							
	12	不定詞 (応用)	完了形・受動態・進行形の不定詞、慣用表現							
	13	動名詞	動名詞の基本、意味上の主語、形容詞用法							
	14	動名詞(応用)	完了形・受動態、動名詞を使う表現							
	15	動名詞と不定詞	動詞による使い分け							
後期	16	分詞 (1) (2)	基本用法、分詞構文							
	17	分詞 (3) (応用)	独立分詞構文、with + 名詞 + 分詞							
	18	関係詞 (1) (2)	関係代名詞の主格、目的格、所有格whose							
	19	関係詞 (3) (応用)	関係代名詞と前置詞、what、非制限用法、関係副詞							
	20	比較	原級・比較級・最上級							
	21	比較 (1) (2)	原級と比較級で最上級の意味を表す、各種の比較表現							
	22	仮定法 (1)	仮定法過去、仮定法過去完了							
	23	仮定法 (2)	wish, if only, as if, without							
	24	時制の一致と話法	時制の一致、直接話法、間接話法							
	25	否定	否定語、準否定語、倒置法							
	26	疑問文・感嘆文	疑問詞、付加疑問、間接疑問、感嘆文							
	27	さまざまな表現	群動詞、イディオム、関連語句							
	28	代名詞	所有代名詞、some, others, another, one, that, either							
	29	前置詞	各種前置詞、群前置詞							
	30	接続詞	等位接続詞、従属接続詞、分詞構文の書き換え							
試験について	前期、後期とも中間試験および期末試験を実施する。中間試験は共通科目試験日に50分間の試験を実施する。期末試験は50分の試験を実施する。									
評価方法	定期試験を70%、小テスト・課題等を20%、授業態度等を10%で評価する。									
教科書	Harvest English Grammar Green Course Training Book、桐原書店編集部、桐原書店									
参考書	高校総合英語Harvest、鈴木希明編著、桐原書店 (一年時に購入：必ず授業に持参する)									
関連科目										
履修上の注意	予習の段階で参考書に目を通し、教科書の設問を自分なりに解いてから授業に臨むこと。授業中に参考書の解説も適宜行い、その内容からも定期試験に出題する。復習では参考書のExerciseも積極的に解いて応用力を養うこと。参考書の例文はCDを聞き暗唱する。									